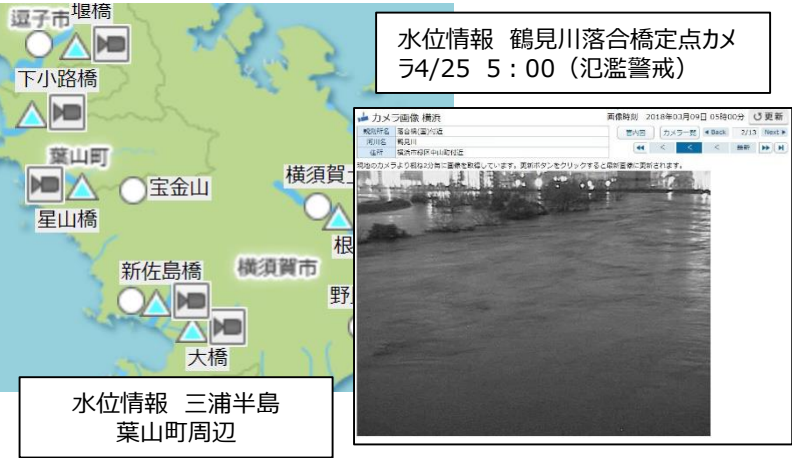


最近では、災害・防災情報の入手方法として、インターネットから情報を得る事は大変一般的になりました。普段から関連サイトに親しんでおけば、災害が予測される時や、発生時に速やかに情報を得る事ができ、早目の対策につながるでしょう。いくつかの防災情報サイトをご紹介しますので、アクセスしてみてブックマークしておいてください。

神奈川県雨量水位情報

神奈川県内の河川の水位及び、定点カメラのモニタ情報を見ることができます。三浦半島を選択すると地図上で町内の下山川、森戸川、近くの田越川、平作川の観測点での最新の水位、カメラが見えます。時間雨量、危険水位の色分けマーク表示があり、危険度を非常によく判断できます。

(http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/)



防災科研 自然災害情報室

防災科研では「過去の災害を知らずして、地域の減災が可能だろうか？」という主旨で過去の被災の記録を公開しています。近年は豊富に地図を使い、被災状況を一目でわかるようにしています。九州北部豪雨で被災後すぐのドローンによる動画を掲載し生々しい被災状況を配信しています。

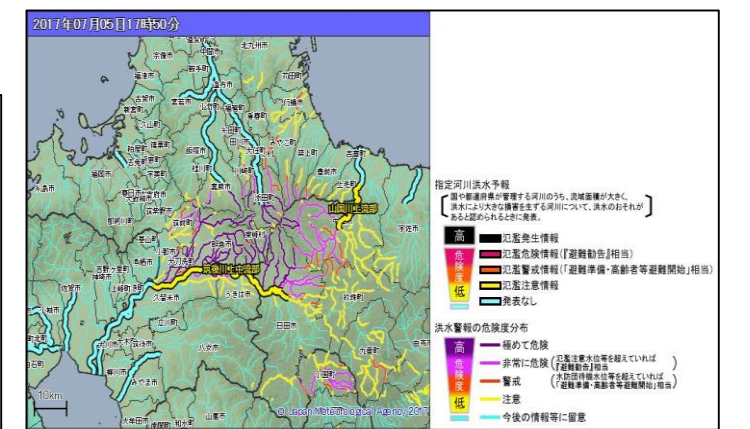
(<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menush.html>)



気象庁の「防災情報サイト」がリニューアル

昨年7月、気象庁 防災情報サイトがリニューアルされました。地図によるわかりやすい形で防災情報の充実がなされました。ちょうど九州北部豪雨被災の時期で報道機関ではこれを基に報道されました。危険度分布では地図上で6時間前から先の時間予想までの変遷が見えます。豪雨での洪水危険度分布では河川を危険度でカラー区分表示します。

(<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>)



HSVN

ニュース

葉山災害ボランティアネットワーク

第4号 2018年初夏号

葉山町の地域防災計画が改訂されました

「葉山町地域防災計画」が改訂され「平成29年度改訂」版として発表されました。概要と、計画の中のHSVNに関連する項目についてお伝えします。

町の広報によると、今回の改訂では主な修正ポイントが3点あり、①災害対策本部体制の見直し ②神奈川県地域防災計画の改訂内容の反映 ③最新の法令・ガイドライン等の内容の反映、とされており、昨年2月と7月に改訂された「神奈川県地域防災計画」の内容を反映しつつ、昨今の災害対策の教訓を踏まえた改訂を目指したとの事です。

担当部署の変更と分掌内容の変化

HSVNに係る点では、第2部「災害予防計画」の中の「災害ボランティア活動の環境整備」という部分と、第3部「災害応急対策計画」の中の「災害ボランティア活動支援計画」に記載があります。

内容は前回平成25年度版と全く変わっていません。後者の「一般ボランティアの活動例」として挙げているリストの引用先が消防庁から内閣府に変わっただけです。

そういう意味では町の「災害ボランティアセンター」に関する方針に変化は見られないのですが、災害ボランティア活動に対応する町の担当部署が代わった事が大きな変更点と言えます。

発災時の「災害ボランティアセンター」に関する事務分掌は25年版の町民サービス課から、今回は福祉課と代わっています。災害対策本部の福祉部の中のボランティア班が担当し、班員は福祉課の職員が担務するようです。

その「ボランティア班」の事務分掌の内容も若干変わっています。25年版では、
1ボランティアの受付及び配置計画に関すること。
2民間ボランティア団体との連絡調整に関すること。
3民間ボランティアへの情報提供に関すること。
4災害救援ボランティア支援センターに関すること。
5その他の匿名事項に関すること。

今回29年版では
1日本赤十字社、その他の福祉団体との連絡調整に関すること。
2ボランティアの受付及び配置計画に関すること。
3民間ボランティア団体との連絡調整及び情報提供に関すること。
4災害救援ボランティアセンターに関すること。
5応援者の宿泊施設の確保及び割り当て計画、並びに食糧などの確保、配送に関すること。
6その他の匿名事項に関すること。
となっています。

この件に関して、具体的な施策の変化などはあるのか、今後の「災害ボランティアセンター連携会議」などを通じて確認していく必要があると思われます。

地域防災計画抜粋（平成29年度改訂版）

第2部第7章第3節「災害ボランティア活動の環境整備」
主管部：福祉部 ←この部分だけ変更
関係機関：社会福祉協議会、葉山災害ボランティアネットワーク

災害時におけるボランティア活動は、被災した町民の生活の安定と再建に重要な役割を担う。災害発生時に広くボランティアの協力を得るために、関係団体との連携による活動環境の整備やボランティアの受入体制の整備等を次のとおり実施する。
1 災害ボランティアの定義等（略）
2 一般ボランティア受入れ体制の整備
町は、災害発生時に、被災地に駆けつける一般ボランティアの受入れや活動内容のコーディネート、ボランティア関連情報の受発信などを行う災害救援ボランティアセンターの設置を、葉山町社会福祉協議会（以下「社会福祉協議会」という。）に要請する。

社会福祉協議会は、災害救援ボランティアセンターを設置し、災害救助ボランティアコーディネーターの協力を得て災害救援ボランティアセンターの運営を行い、町は災害救援ボランティアセンターの設置場所の確保、情報等の提供を行う。
↑この部分に関して裏面の「連携会議」の記事を見てください

町が提供する設置場所・提供期間
保育園・教育総合センター2階 学びの広場及び研修室
社会福祉協議会が、別途、災害救護ボランティアセンターを設置するまでの概ね3週間程度

3 災害ボランティアコーディネーターの養成 災害ボランティアの活動が円滑かつ効果的に行われるためには、専門性の高いコーディネーターが不可欠であるため、社会福祉協議会は、災害ボランティア関係団体と協力し、災害ボランティアコーディネーターの養成を推進する。町は、災害ボランティアコーディネーターの養成に伴う研修会等に対して必要に応じて協力・支援する。

内容は平成25年度版と全く一緒



葉山ボラセン

葉山災害ボランティアネットワーク(HSVN)

http://ecom-plat.jp/ictkanagawa_sv/index.php?gid=10132
フェイスブック <https://www.facebook.com/hsvn77>
メールアドレス hsvn77@yahoo.co.jp 入会随時受付中



HSVN

2018年春季「災害ボランティアセンター設置運営訓練」

2月19日（日）葉山町消防署地下講堂において、6回目となる「災害ボランティアセンター」の設置運営訓練を行いました（共催：葉山町社会福祉協議会、後援：葉山町）。訓練にはHSVＮ会員23名、社協3名、町（防災安全課・福祉課）3名、町内会6名、関係団体13名、合計48名という多数の方々が参加くださいました。

今回の訓練は、近年各地で起きる災害に伴い、災害ボランティアセンターの運営もいろいろと新しい方法が導入されるようになってきている中で、ボランティアの登録を事前に予約・登録してもらい、事前に集約したニーズ（ボランティアの派遣依頼）とマッチングするという「事前マッチング」に焦点を絞って行いました。

当日、参加者は6チームに分かれて実行委員が用意した各チーム共通の、ボランティアの事前登録情報（個人15名、6団体50名、合計65名）と、ボランティアの派遣依頼9件（要求人数77名）を、案件ごとに緊急度や依頼内容の特異性を判断し、優先順位、考慮すべきポイントなどを勘案しながらマッチングを行いました。

マッチングにあたっての条件は「全てのボランティアに活動を割り振る」という事だけで、各チーム喧々諤々の熱気のこもった話し合いを通じて、短い時間の中で全てのチームがマッチングを終える事ができました。その後の発表では各チームの考え方の違いも聞け、マッチングをする際の「多角的な視点を持つことの大切さ」が実感できた訓練となりました。

- 新しいノウハウの一つ「事前マッチング」
- 事前マッチングとは、ボランティア活動希望者に事前に活動できる日を予約してもらい、あらかじめニーズとマッチングさせること。近年の災害ボランティア運営においてかなり一般的に行われるようになってきた
- 「事前マッチング」を行う理由とメリット
- 事前にマッチングが済んでいるので、朝一番から活動できる。
 - 場合によっては現場に直行してもらう事もできる。ボランティアの駐車場確保が難しい葉山では有効な手段。
 - 事前に申し込んでもらう事で、資格や特技、経験値などを勘案した上で特性に合った活動をマッチングできる。
 - 優先度・緊急度が高いニーズ案件に対応しやすくなる。
 - 団体などの受付を事前に行うことで受付の混雑を緩和できる。



訓練を終わって（アンケートから）

- ・訓練の目的が良く分かった。事前マッチングの概容がわかった。
- ・事前マッチングでボランティアの適性に応じたマッチングを行えることが分かった。その反面、事前予約をしても来られない方、当日参加も考慮しなければならない。
- ・ボランティアの内容とニーズを両方見ることですムーズにできた。
- ・ニーズの緊急性やボランティアの内容を把握した上で力仕事、車、男女等を考えた。
- ・ボランティアの要望も注視しながらニーズに応える。
- ・派遣先を地図上で確認して進めると効率的な派遣ができそう。一案件後、次の案件へ。
- ・事前マッチングをしきれなかったニーズのチェックが必要。当日何人募集をかけるとか記入できたら良いのでは。

災害ボランティアセンター連携会議

HSVＮから意見書を提出

今回の地域防災計画の改訂（案）に対して、HSVＮは意見書という形で2点の修正案を、2月22日に行われた「災害ボランティアセンター連携会議」において葉山町防災会議宛に提出しました。

詳細はHSVＮホームページを参照してください。グーグルもヤフーも「HSVＮ」で検索するとトップに表示されます。右のQRコードでも読み込めます。



意見に対する決定

第1部の「災害ボランティアの役割」に関する修正提案は反映されましたが、第2部の「一般ボランティア受入れ体制の整備」に関する修正提案は反映されませんでした。前者は「町及び防災関連機関」の「努力目標」である事に対して、後者は「社協と町のやるべき事」を定める項目であり、町のやるべき事として、原案の「場所と情報の提供」以外に「資機材、資金、什器備品、通信環境」の提供を求めた提案が反映されなかった事は残念です。今後も粘り強く関係機関と話し合っていきたいと思います。

なお5月3日現在、まだ町のホームページで新しい防災計画が公開されておりません。早目な公開が望まれます。

発災時に行政から提供を受ける情報リスト

連携会議では災害ボランティアセンターが設置された際に、災害対策本部との情報共有が重要であるという観点から、行政が持つ災害関連の情報の中で、災害ボランティアセンターの運営に必要な情報を適宜提供を受けるという事が合意され、情報のリストを共有しました。

2. 災害ボランティアセンター活動に必要な行政の情報					
項目	内容	情報	地図	緯度 経度	通常時
被災箇所	越水、決壊の箇所、浸水地域	○	○	○	
被災状況	震災面積、被災家屋、避難者	○			
ライフライン状況	電気、ガス、水道、通信	○			
危険箇所	危険箇所、立ち入り制限区域	○	○	○	ハザードマップ
交通規制区域	場所、規制内容、緊急車両などの区分内容	○	○	○	
避難所	場所、避難者数	○	○	○	設定避難場所公開
福祉避難所	場所、避難者数	○	○	○	設定避難場所公開
救護所	場所、医療体制	○	○	○	設定場所公開
利用可能公共トイレ	場所	○	○	○	公開
仮設トイレ	場所、量	○	○	○	緊急時設置設定場所
臨時給水所	場所	○	○	○	
災害VC設置場所	センター、サテライト、駐車場の場所、期間	○	○	○	センター予定場所（複数候補）公開
災害VC提供資器材	対応防災倉庫、利用条件	○	○	○	防災倉庫公開
災ボラ支援内容	宿泊、浴場などの内容、場所、利用条件	○			
災害VCとの窓口	担当、電話、メール	○			
	担当、電話、メール、支援窓口、危険度判定、罹災証明、証明書紛失対応、便乗業者注意、健康相談などの窓口	○			
被災者との窓口					
公共機関開業状況	名称、場所、開業時間帯	○	○	○	
医療機関開業状況	名称、場所、電話、開業時間帯	△	△	△	
瓦礫ゴミ廃棄場所	場所（特定場所、道路）	○	○	○	
ゴミ廃棄条件	廃棄日、分別、土壌詰めなどの規制、土砂、流木などの受入れ	○			

HSVＣ広報委員会

HSVＣ（葉山災害ボランティアセンター）広報委員会は「ボラセンを立ち上げる事になった時、社協とHSVＮは初期段階においてそれぞれ何をするのか？の共通認識と手順を共有する」ために昨年の9月から隔月で定期的に話し合いを続けている委員会です。

社協からは事務局長加藤さん、広報担当中野さん、ボラセン担当千田さん、HSVＮからは柿本、西山、矢嶋の三役とICTに強い吉田見岳というメンバーが参加しています。

委員会では発災直後から始まるであろう情報の収集と発信について、どのような手段と手順と分担で行うのか？を具体的に話し合っています。情報をどこから入手するのか？どのような情報が必要なのか？などをリスト化すると同時に、どこにどんな情報を届けるのか？どのような手段で情報を発信するのか？も具体的な媒体や文案も含めて検討しています。

その前提として、発災後の社協とHSVＮの連絡の確立方法と、ボラセン立ち上げまで両者がどのタイミングで何をするのか？も今後の話し合いの中で話し合っって具体的に決めていく予定です。成果は順次お伝えしていくつもりですが、連携会議で行政から提供を受けたい情報リストを提出したのも、その成果の一つです。今後の話し合いの成果にご注目ください。

葉山まちあるき

「葉山まちあるき」2ラウンド目突入決定！

2015年7月に木古庭を探検する事から始まった「葉山まちあるき」ですが、今年の1月に行った第9回の「長柄パート2葉桜・イトーピア」で一旦町内全地域を回り終えたこととなりました。みんなよく歩きました！しかし、一旦全町を回り終えたものの、まだまだ見ていないところも多く、また参加者の中からも是非続けて欲しいという声も寄せられたことで、引き続き「葉山まちあるき」は続けることにしました！次回は初心に戻って木古庭を歩きます。

第10回「葉山まちあるき 木古庭探検」

2018年6月24日（日）

荒天中止の場合は7月1日（日）に

集合10:10（大楠登山口バス停）衣笠行きバス停

解散14:30（木古庭バス亭）

※詳細はチラシ・ホームページでご確認ください

まちあるき9回の記録

第1回「木古庭」2015年7月12日
第2回「上山口」2015年11月21日
第3回「下山口」2016年3月26日
第4回「堀内パート1 海側」2016年6月4日
第5回「一色パート1 山側」2016年10月8日
第6回「一色パート2海側」2016年12月3日
第7回「堀内パート2山側」2017年6月17日
第8回「長柄パート1長柄下・森戸川」2017年12月3日
第9回「長柄パート2葉桜イトーピア」2018年1月28日

「まちあるき」の成果は「葉山町防災情報マップ」に随時反映し、誰でも見られる状態で更新を続けております。



ラーメンあじ平長柄店



感謝！

葉山災害ボランティアネットワークは三留モーター商会様、ラーメンあじ平長柄店様から「支援活動準備金」のご支援をいただいて活動しております。

